



## 特集

## 第48回 経營業務実態調査結果 解説(後編)

## TOPICS

- 「満足度 No.1」等の広告表示の根拠とする調査に関する提言を発表し、消費者庁へ報告
- 開催報告「クライアントの取り組みを聞く」第5弾(7月13日)

Vol.70

2023/8/22 配信

台風に慣れていると思われがちな沖縄県ですが、台風6号(カーヌン・KHANUN)で大きな被害が出ています。速度が非常に遅く、雨量が非常に多いことと、通り過ぎたと思ったらUターンしてくるなど、1週間前後にわたり、県民生活に甚大な影響をもたらしています。停電や断水などライフラインへの影響も大きく、ニュースを見ていると、数日間も停電をしていらっしゃる方もいるとのことで、非常に心配な事態です。メルマガが配信されている頃には、事態が落ち着いていることを祈るばかりです。

向こう1ヶ月の天気ですが、引き続き猛暑が続くようで、私も暑くて土日も家に引きこもっている状況です。皆様もご自愛ください。

&lt;JMRA ウェブ・メルマガ委員会&gt;

[メルマガ登録について詳しくはこちら](#)



## 第48回経營業務実態調査結果

第 48 回 経營業務実態調査結果 解説(後編)

日本のインサイト産業市場規模は

従来比 1.67 倍の 4,315 億円に

JMRA では今回初めて公式に、ESOMAR が提唱した「インサイト産業 8 セグメント」への拡大推計を試みました。

同定義に準拠した日本の市場規模は 4,315 億円(従来型調査市場比 1.67 倍、前年比 111.3%)と推計されています。

従来型市場調査(2,590 億円)のシェアは 6 割にとどまり、成長率は 109.9%と堅調であるものの、インサイト市場全体と比べるとやや見劣りする結果となっています。しかし、これは私たちの考え方、土俵の広げ方いかんで、今後の成長余地が大きくなることを意味しています。

「小さな 100%のパイをめぐる争うよりも、新たに広がったパイの数%を獲得する」ことを検討すべきときではないでしょうか。

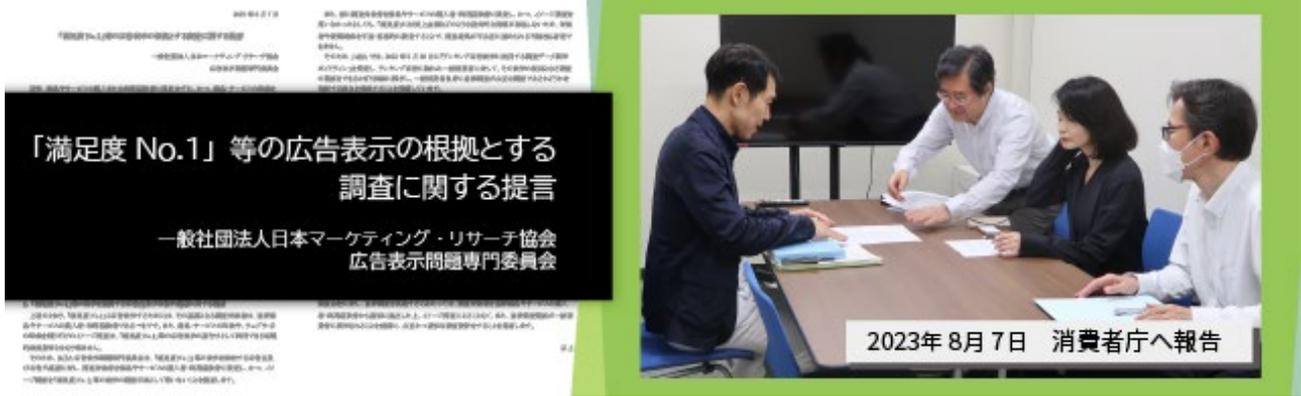
なお、日本では外資系企業(日本法人)の情報収集が難しく、また特にテクノロジー主導分野の推計は発展途上にあり、今後の精度向上が必要です。

今回の公表が広く議論を喚起し、関係する企業・組織・団体からの情報提供ならびにご協力につながることを期待しています。

※)この推計値は『日経業界地図 2024 年版』(2023 年 8 月 19 日発行)にも引用されています。

[詳しくはこちら](#)

## TOPICS



### 「満足度 No.1」等の広告表示の根拠とする調査に関する提言を発表 消費者庁へ提言書を報告しました

商品やサービスの購入または利用経験者に限定せず、かつ、商品・サービスの印象を問ういわゆる「イメージ調査」、特にウェブサイト等の印象を比較して優劣を問うイメージ調査を根拠に「満足度 No.1」等と表示した広告が、一般消費者に優良誤認を与える不当表示であるとして、消費者庁から措置命令が出された事例が散見されています。

こうした事態を重く受け止めた JMRA 広告表示問題専門委員会は、「満足度 No.1」等の表示を検討する広告主及び広告代理店、並びに、当該表示の基礎となるランキング調査を実施する調査会社に対して提言を行いました。

[詳しくはこちら](#)

## TOPICS



### 開催報告

### 「クライアントの取り組みを聞く」第 5 弾 日本コカ・コーラ様(7月13日)

本シリーズ第 5 弾は、日本コカ・コーラ(株)マーケティング本部の小林康二様と宇川有人様より、4,700 万ダウンロード、対応自販機 46 万台に達した話題の「Coke ON(コーク・オン)」アプリによる同社のマーケティング戦略とインサイト活用についてご紹介いただきました。

アプリ会員の行動データ分析結果に観察・定性調査などを組み合わせ、アクションにつながるインサイト抽出の取り組みが進んでいるとのこと。参加者からの感想でも「メーカーが直接消費者と接し、データも得られることでリサーチが大きく変わる可能性を感じた」など、すでに始まっている環

境変化を実感させられるものとなりました。

第6弾は9月29日(金)12:00～、Sansan(株)UXリサーチセンター様をお招きして開催します。  
ご期待ください。

[詳しくはこちら](#)

## TOPICS

開催  
報告

リサーチャーのDX/リスキリング推進シリーズ講座  
第2弾:生成系AIによる定性・質的調査の新しいスタンダード  
2023年7月20日(木) 一模擬 FGI の解析トライアル結果を踏まえて

開催報告

### リサーチャーのDX/リスキリング推進シリーズ講座 第2弾 (7月20日)

リサーチャーのDX対応推進をテーマにした本シリーズの第2回目を実施しました。

冒頭の佐藤哲也担当理事の趣旨説明に続いて登壇いただいたのは、2023年6月末まで定性専門の調査会社インテージクオリスの代表を務められた現インテージの小島賢一氏と、アンド・ディで生成系AIサービスの事業開発を推進されている小木戸渉氏です。

[詳しくはこちら](#)

## TOPICS

開催  
報告

多様なマーケティング・リサーチの  
新潮流に触れる 著者が語るシリーズ2023

第2回

7.25  
(火)

開催報告

### 著者が語るシリーズ 2023 第2回 奥谷孝司氏(7月25日)

「著者が語るシリーズ 2023」の第2回目は、7月25日に、株式会社顧客時間の共同CEO/取締役である奥谷孝司氏にご登壇いただき、開催しました。

奥谷氏は、本書「マーケティングの新しい基本」の中で、これまでのマーケティングの基本である4P(プロダクト/プライス/プロモーション/プレイス)のモデルを進化させた「エンゲージメント4P ver.2」という循環型のマーケティング思考を提唱されています。

当日は、この「エンゲージメント4P ver.2」というビジネスモデルを用いて、デジタルの活用を前提と

して、お客様との独自の接点を持ち、お客様とつながり続けることやお客様を理解することに基づいた顧客戦略の重要性を多数の事例を元に、わかりやすく、たくさんの解説をいただきました。

[詳しくはこちら](#)

## TOPICS

開催  
報告

「マハラノビス研究会報告」&  
「データ解析担当者交流会」

2023年7月28日(金) 15:30～17:30

開催報告

### 「マハラノビス研究会報告」&「データ解析担当者交流会」 (7月28日)

リサーチ・イノベーション委員会が2022年度に取り組んだ「マハラノビス研究会」の成果報告会兼「データ解析担当者交流会」を実施しました。

研究会代表者の朝野熙彦氏が趣旨と活動内容を振り返ったのち、リサーチ・イノベーション委員会委員長の梅山貴彦氏より、従来の非階層クラスター分析の問題点を改良する手法が紹介されました。報告会終了後は会場を交流会形式に切替え、研究会メンバーと参加者との間でさまざまな意見・質問等を交わす場となりました。日ごろヨコのつながりに乏しい集計・解析担当の皆さんにとって、貴重な機会になったことと思います。

2023年度は「データサイエンスのマーケティングへの活用研究(仮)」をテーマに、引き続きプロジェクト型の研究会を発足させる予定です。

[詳しくはこちら](#)

## 不定期連載

顧問弁護士が語る  
課題を乗り越える法律知識

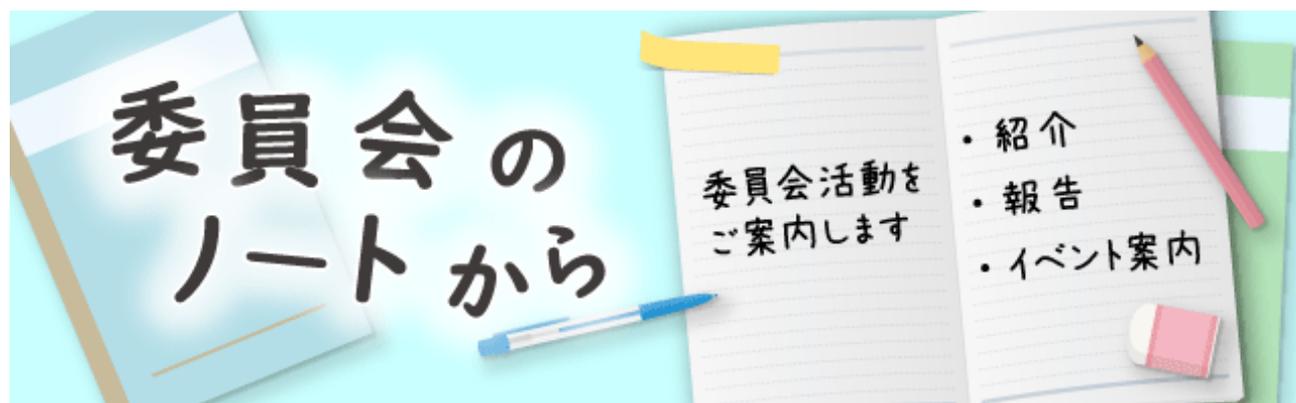
JMRA 顧問弁護士の鈴木先生による、最近の話題についての法的根拠や市場調査における基

本的な法律知識をコラム形式で不定期に連載します。

今回は「性的少数者への配慮に関する最高裁判決について」についてです。

[詳しくはこちら](#)

連 載



JMRA では、多くの委員会が活動しています。それぞれの委員会がどのような方向性で何に取り組んでいるのか、毎月ひとつの委員会を取り上げ、情報の発信をいただきます。  
今回はインターネット調査品質委員会です。

[詳しくはこちら](#)

連 載



最近 JMRA マーケティングデータ・ストレージに掲載された会員社の自主調査から、ウェブ・メルマガ委員会が精選した自主調査をご紹介します。



## 今月の注目調査

●定性調査の調査手法に関する意識について  
(2023.8.1(株)ネオマーケティング)

コロナ禍で浸透したオンラインインタビュー。5類移行後はオフラインの需要も戻りつつありますが、一方でオンラインも継続して行われています。そこで対象者は、オン・オフのどちらが参加しやすいと思っているのか等のレポートを紹介します。

詳しくはこちら  
(JMRAマーケティングデータ・ストレージ)



## 今月の注目調査

●「1 個購入で次回無料」クーポンの利用実態  
(2023.8.1(株)アスマーク)

コンビニエンスストアでよく見かける「1 個購入で次回無料」クーポン。20～50 代男女の6割が「お得感から」「次回無料で買える商品が欲しかったから」等の理由で、利用したことがあるそうです。でも…引き換えるのを忘れたことありませんか(本当にお得?)。

詳しくはこちら  
(JMRAマーケティングデータ・ストレージ)

## 連載

What's happened?

## おすすめ記事をピックアップしてご紹介

広告・マーケティングの最新動向がわかるマーケター向け専門メディア「MarkeZine」から、おすすめ記事をピックアップしてご紹介いたします。



## 今月の注目記事

●2023 年上半期のマーケティングトレンドをチェック！  
夏に読みたい MarkeZine 人気記事ランキング

詳しくはこちら  
(外部サイト:MarkeZine)



## 今月の注目記事

●「分散型旅行」「推し活」に注目！  
楽天グループ 2023 年夏のトレンド予測に見る、最新の生活者インサイト

詳しくはこちら  
(外部サイト:MarkeZine)

多様なマーケティング・リサーチの  
新潮流に触れる 著者が語るシリーズ2023【ウェビナー】

第3回

8.23

(水)

●著者が語るシリーズ 2023 第3回

鈴木督久氏「調査の実施とデータの分析」

リサーチの企画・管理、ならびにデータの高度利用の業務に携わるうえで必要とされる、調査企画、調査票作成、標本設計、調査の指導、調査結果の集計・分析、データの利活用の手法等に関する基本的知識と能力とはどんなものでしょうか。

それに加え、世の中で広く利用される統計や各種調査データなどについても総合的に評価する能力のための検定試験である「専門統計調査士」について本書に沿って解説していただきます。

・日程:2023年8月23日(水)14:30~16:00

・会場:Zoom ウェビナー

詳しくはこちら



リサーチャーのDX/リスキリング推進シリーズ講座

第3弾:生成系 AI は定量・データ分析をどう自動化するか?

2023年8月30日(水)

— 定量分析とその自動化の現在地、そして未来

●リサーチャーのDX/リスキリング推進シリーズ講座

第3弾:生成系 AI は定量・データ分析をどう自動化するか?

— 定量分析とその自動化の現在地、そして未来

※)話題の "Code Interpreter" についても解説します

大規模言語モデル(LLM:生成系 AI の一種)の登場は、定量調査の作業工程を大きく変革するものと見込まれています。

ただし、ちょっと待ってください。私たちが過去に手がけてきた「定量調査(分析)」とは、そもそもどのような意味合いのものだったのでしょうか?

自動化を考える上では、その工程と意義を再定義するところから始める必要があります。生成系 AI による定量的データ分析の現在地と未来を考えるセミナーです。

・日程:2023年8月30日(水)14:00~16:00

・会場:Zoom ミーティング

詳しくはこちら



## マーケティング・リサーチ ベーシックコース (秋季) 2023年9月1日(金)～10月31日(火)

### ●マーケティング・リサーチ ベーシックコース(秋季)

初めてマーケティング・リサーチ業務に接する人から3年程度の業務経験を重ねた方の、リサーチの全体像の知識取得と理解を目標として開講するものです。

今期より、新製品開発等で多用される手法で、固有の実施方法や分析方法が数多く含まれる「テスト・実験調査」がラインナップに加わりました。

マーケティング・リサーチの実務を担当して日の浅い方や調査の基本を知りたい方、また、調査の営業・企画担当者に受講をお勧めします。

・日程(視聴期間):2023年9月1日(金)10:00～10月31日(火)17:00

・会場:オンデマンド+フォローアップ講座

詳しくはこちら



## 定性調査 インタビューフロー作成の基礎講座 2023年9月6日(水)・13日(水)

### ●定性調査 インタビューフロー作成の基礎講座

定性調査の経験がある方々からの

- ・インタビューフローを自己流で作ってきたが、これで良いのかよくわからない
- ・インタビューフローの作り方を改めてきちんと学んでみたい
- ・このインタビューフローが的確かどうかを判断できるようになりたい

そんなお声にお応えした座学と実践を交えた新設講座です。

まず、座学を通して、

- ・インタビューフローの役割
- ・インタビューフローのベーシックな作成手順
- ・インタビュー項目の流れと時間配分

といったことを学びます。

そして、実践検証では、チームに分かれて、実際に作ったフローを相互に試し、「フローのワークする点/しない点」などを体感します。

本講座での学びによって、調査課題を明らかにするインタビューフローを作れるようになることを目指します。

(インタビューのやり方・スキルを学ぶ講座ではありません。インタビューのスキルに興味がある場合は、『インタビュースキル養成講座』と併せてご検討ください)

- ・日程:2023年9月6日(水)・13日(水) 両日とも 13:00~17:00
- ・会場:Zoom ミーティング

詳しくはこちら

## 多様なマーケティング・リサーチの 新潮流に触れる 著者が語るシリーズ2023【ウェビナー】

第4回

9.21  
(木)

### ●著者が語るシリーズ 2023 第4回

#### 安齋勇樹氏「リサーチの可能性を拓げる『問い』のデザイン」

会議が盛り上がらない、良いアイデアが浮かばない、チームメンバーと「わかりあえない」と感じる、これらの原因は、チームメンバーやマネージャーの能力不足ではなく、チームが向き合っている「問い」がうまくデザインされていないケースが大半です。

問題の本質を見抜き“本当に解くべき課題”を設定することでブレイクスルーを起こす「問いのデザイン」について、課題解決と価値創造の根幹としての「問い」設定の体系書である本書に沿ってご説明いただきます。

- ・日程:2023年9月21日(木)14:30~16:00
- ・会場:Zoom ウェビナー

詳しくはこちら



## インタビュースキル養成講座

2023年10月4日(水)・11日(水)・18日(水)・25日(水)

### ●定性調査 インタビュースキル養成講座

マーケティングイノベーションが叫ばれる中、定性調査の必要性は高くなっています。定性調査のインタビュアーは、マーケティング目的・課題に答えるためのヒントになる対象者の反応に、「気付いて」→「焦点を当てて、意味を深めて」→「定性分析に耐えられる情報を出す」役割が期待されています。

本講座では、定性調査の仕組みを理解していただく座学を通して、「定性調査のインタビューの基本（仕組みの再認識）」  
「マーケティングのネクストステップに役立つインタビューのスキル」

- (1) 対象者との信頼関係づくり
- (2) 生活者を理解するために丁寧に聞く→聴く
- (3) 柔軟な投げかけと的確なプローブ

といったことを学びます。

マーケティングのネクストステップに役立つインタビューのスキルを身に付けて、実践に生かしていただくための講座です。

- ・日程: 2023年10月4日(水)、11日(水)、18日(水)、25日(水)  
各日 13:00~17:00
- ・会場: Zoom ミーティング

[詳しくはこちら](#)

## お知らせ



### ●APRC Conference 2023 Mongoliaのご案内

2023年10月13日(金)に、APRC Conference 2023がモンゴルのウランバートルで開催されます。

APRC(Asia Pacific Research Committee)は、アジア太平洋地域の9カ国のマーケティング・リサーチ協会で構成される団体です。「APRC Conference」は、世界及びアジア各国の市場調査の最新技術やトレンド・潮流をシェアする情報交換の場となっています。

今年はモンゴルの市場調査協会であるMMRA(Mongolian Marketing Research Association)がホストを務め、基調講演にはESOMAR会長のRay Poynter氏が登壇されます。

このような機会でもない限り、近年急成長を遂げているモンゴルの実像に触れることは難しいと思われま。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

[詳しくはこちら](#)



JMRA メルマガ 70 号をお届けしました。

末尾が“5”とか“10”のような切りの良い数字を聞きますと、なぜか〇〇周年とか△△回記念といったイベントを思い起こさせる魔力があるように思えます。

実は、JMRA も 2025 年には 50 周年を迎えます。なかなか歴史ある団体と言えます。先日、この周年記念誌(冊子ではなく web サイト開設の方向で検討中)を作成するにあたって、昨年大きな節目を迎えられ、「社史」として HP にサイトを設けられた会員社に、作成のポイントなどのご教示をいただきに伺いました。具体的な内容につきましてはここでは伏せておきます。2025 年をお楽しみに。

印象的だったのは、プロジェクトメンバーの皆さんが、節目となったイベントに取り組んでおられた当時に懐かしみつつ、大変生き生きと語ってくださったことでした。締め切りや費用などの制約がある中、情熱を注いだのは、社の歴史を時代背景とともに紐解き、その当時の実態を垣間見ながら編纂することが楽しかったからだと思惟しました。仕事とはいえ、無意識のうちに楽しめることほど幸せなことはありません。こんな巡り合わせが皆さんにも訪れますように。

- 
- ◆このメールはメルマガをご登録された方に配信しています。
  - ◆配信停止を希望される方は [こちら](#)よりお願いいたします。
  - ◆このメールは送信用アドレスから配信しているため、ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。
  - ◆プライバシーポリシーは [こちら](#)をご覧ください。
  - ◆配信元：一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会  
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-9-9 石川LKビル 2 階  
<https://www.jmra-net.or.jp/>  
[office@jmra-net.or.jp](mailto:office@jmra-net.or.jp)

あなたの中に未来がある。